

運輸車輛部会 視察見学会 報告書

- 開催日 平成 27 年 12 月 9 日（水）
- 視察先 平田観光農園、三次ワイナリー、道の駅「世羅」
- 目的 中国横断自動車道尾道松江線が、開通したことによる地域への経済効果と、高速道路網の整備の重要性を学び、併せて会員相互の交流を深める
- 参加者 8 名（内事務局 2 名）
- 主催 三原商工会議所 運輸車輛部会

本所運輸車輛部会（田中綜一部会長）では、平成 27 年 3 月 22 日に全線開通した中国横断自動車道尾道松江線を利用した、視察見学会を 12 月 9 日（水）に実施しました。

視察会では、三次市の平田観光農園に、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所調査設計課長の砂堀松男氏を招き、尾道松江線開通にともなう交通量や地元経済への波及・観光客数等の変化について、また開設 60 周年を迎えた平田観光農園の観光農業・六次産業の取り組みについて、同園常務取締役の加藤瑞博氏よりご説明を頂きました。

さらに、三次ワイナリーを見学した後、平成 27 年 5 月 23 日にオープンしたばかりの道の駅「世羅」に立ち寄り、道の駅の運営方針等についてお話を伺いました。

高速交通網の整備による都市間連携や地域の中の変化について、知ることができる視察見学会となりました。

スケジュールは以下の通り

時間		内容
09:00		隆景広場 発
09:15		三原商工会議所 発
		↓
10:30		平田観光農園 着
10:35	11:05	講演：やまなみ街道開通による変化について 中国地方整備局 三次河川国道事務所 調査設計課長 砂堀松男様より
11:05	11:25	講演：やまなみ街道開通による変化について 平田観光農園 常務取締役 加藤瑞博様より
11:25	11:35	三次河川国道事務所 砂堀様、平田観光農園 加藤様との自由討論会
11:35	12:00	見学：平田観光農園
12:00	13:20	昼食：平田観光農園
		↓
13:50	14:30	見学/買物：三次ワイナリー
		↓
15:10	15:50	見学/買物：道の駅世羅 課長 土田昌克様よりご説明
		↓
16:40		隆景広場 着
16:55		三原商工会議所 着

※やまなみ街道開通による変化に関する説明と平田観光農園の取組についての説明時間が予定を超過したため、平田観光農園内の見学は中止とした。

●やまなみ街道開通による産業・地域等の変化についての説明



国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所 調査設計課長 砂堀松男 様より、「平成 27 年 3 月 22 日に全線開通した中国横断自動車道尾道松江線の開通により民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれ、①産業振興、②観光振興、③住民生活の 3 点の効果がある。」と説明がありました。説明を受けた各項目の効果は次の通り。

①産業振興

道路沿線への企業の進出が活性化し、平成 19 年度以降に尾道松江線沿線に進出した企業は延べ 133 社あり、約 3,900 人の雇用を創出されました。

また、尾道松江線の開通により心理的にも時間的にも距離が短くなったことから、地域間の企業活動が活発化し島根県東部の取引企業数（発注・受注の合計 H21→H26）は、13,400 件から 17,100 件の約 1.3 倍に増加しています。

具体的には、雲南市に島根本社工場がある世界的厨房機器メーカーのホシザキ電機㈱（製氷機の世界シェア 3 割）は、尾道松江線の開通により、山陽側からの部品調達が容易になったことから安定した生産が可能になり、売上が 1.4 倍に増加しました。（H21→H26）。

この他、愛媛県今治市の「今治タオル」の原材料の約 7 割が、出雲市で生産され尾道松江線で陸送されています。特に KB ツヅキ出雲工場では、綿糸の国内生産の約 45%を生産しています。輸送の効率化が図られたことにより、良質な国産綿糸が短時間で供給され「今治タオル」を支えている状況です。

なお、現在も綿糸出荷量は（H23→H26）、増加傾向にあります。

②観光振興

島根県東部では、観光客数が 14%増加しました。（H24→H26）

特に雲南市では、観光入込客数（H26）は、140 万人と松江自動車道全線開通前の約 1.5 倍に増加しました。

また、島根県との県境近くにある「道の駅たかの」の来場者は、庄原市以外の広域からの来場者が 95%を占めています。

（広島市 22%、その他広島県（庄原市・広島市を除く）28%、島根県 18%、その他中国地方 12%、中国地方以外 15%、庄原市 5%）

③住民生活

尾道松江線の開通により、新規に高速バス路線の運行が開始されるとともに運行便数も増加。(H24→H26) 高速バスの利便性が向上し、山陰と山陽がより近くなったことで、住民の生活を支援することになりました。

出雲広島線(往復2便増)、松江広島線(往復8便増)、松江尾道・福山線(新設往復6便)

●やまなみ街道開通による平田観光農園の変化について常務取締役 加藤瑞博様のご説明

平田観光農園は、開園当初りんごと葡萄の生産から始まりました。その後、農閑期等の影響を受けず年間を通した来園いただけるよう、生産物の収穫時期をずらしたり、新たに梨やイチゴ等の栽培にも取り組むことで、従業員の雇用の確保にも取組まれました。

また、収益を安定化させるため、果物の食べ放題だけでは、収穫数に限りがあり受け入れられる客数にも限界があるため、スイーツ作り体験(お客様自身がりんごでピザ等を作って食べる)という体験型の飲食プランを行うことされました。

その他にも、長野県にドライフルーツの工場を造り、東京の百貨店での販売等の事業にも取り組んでいます。

尾道松江線の開通の影響により、福山、岡山、兵庫等からの問い合わせが多くなり、最近では、来園者の車のナンバーをみると、高知県などの四国地方からの来園者が見られるようになりました。今後は、更に県外からのお客様の来園いただけるよう取り組んでいるところです。



●三次ワイナリーでワイン製造工程についての説明



ワインの仕込み工程や、赤ワインと白ワインの造り方の違いの説明を頂きました。

三次ワイナリーの地下の貯蔵庫は年間を通して13度に保ち、ワインを保管されています。ワインは温度変化に弱く、横に寝かしてコルクを湿らした状態で、保存しているそうです。

●道の駅「世羅」の運営状況について



道の駅「世羅」 課長 土田昌克様のご説明

平成27年5月23日にオープンしました道の駅「世羅」は、観光協会が運営主体となり運営されています。

そのため、地域の特産品等を、道の駅で本格的に販売するのではなく、それらを魅力的に展示、紹介することで、実際に販売している周辺町内の店舗や施設等を利用者へ周遊していただくように取組まれています。

道路情報はもとより、地域や尾道松江線の旬な情報を網羅し、細やかに利用者へ伝えるためインフォメーションスタッフが常駐するロングカウンターを設置し、提案力・相談力を高められています。

また、地域の様々な団体等の活動（音楽ライブ、日本酒の会、ランニング講習、料理実演等）の場として交流広場を開放し、話題性の高いイベントを行い施設の宣伝効果にもつながられています。

以上